

2024年8月10日

かんきょう観察会報告号外

活動グループ名：板橋区の蝶を調査する会

観察日時 2024年8月10日（土） 午前9時50分～午後1時30分

観察地域 石神井公園（石神井池～三宝寺池）

参加者 梅田、神山、川口、小林、佐藤、渡邊（計6名）

当日の天気 晴れ（猛暑）

観察結果

アゲハチョウ科

- ①アオスジアゲハ
- ②アゲハ
- ③クロアゲハ

シロチョウ科

- ①キタキチョウ
- ②モンシロチョウ

タテハチョウ科

- ①アカボシゴマダラ（成虫・幼虫）
- ②イチモンジチョウ
- ③ゴマダラチョウ
- ④コムスジ
- ⑤サトキマダラヒカゲ
- ⑥ツマグロヒョウモン♀

シジミチョウ科

- ①ウラギンシジミ
- ②ツバメシジミ
- ③ムラサキシジミ
- ④ムラサキツバメ
- ⑤ヤマトシジミ♂♀
- ⑥ルリシジミ

セセリチョウ科

- ①イチモンジセセリ
- ②キマダラセセリ
- ③チャバネセセリ

観察概要：

昨年の夏と同様に今年の夏も猛暑が続き、今回も 35℃超えの暑さとなりました。午前9時40分頃に西武池袋線石神井公園駅を出発し石神井公園に向かいました。石神井池のそばに植えてあるムクゲの花にイチモンジセセリ・チャバネセセリが吸蜜に来ていました。また、マリーゴールドの花壇にイチモンジセセリ・ヤマトシジミ♂♀がいました。石神井池のそばを歩きながら行くと、キタキチョウ・サトキマダラヒカゲ・ムラサキシジミ・ツバメシジミ・アオスジアゲハが観察できました。例年は途中のベンチの後ろ側にヤマノイモ・オニドコロの群生しているところが有りましたが、今年は刈り取られてわずかに残っている状態でした（ダイミョウセセリの卵・幼虫は見つかりませんでした）。

10時40分、三宝時池につきました。近くのフジの木の葉にシジミチョウ科（ツバメシジミ・ウラナミシジミ・ルリシジミと思われる）のワラジ型の幼虫が付いていました。フジの木の上では、ウラギンシジミが飛び回っていました。フジの近くにあるエノキの葉にアカボシゴマダラの幼虫が付いていました。池の周りを観察しながら歩いて行くと、池の水が少ないところにアゲハが吸水に来ていました。三宝時池の周り沿いでは、ツバメシジミ・キタキチョウ・アカボシゴマダラ・ムラサキツバメが観察できました。アオバハゴロモとベッコウハゴロモも観察できました。ヤマノイモ

とオニドコロが少し混生している場所では、ダイミョウセセリと思われる卵の様なものを見つけました（後でルーペで確認すると、カタツムリの赤ちゃんでした。ダイミョウセセリの卵でなくて残念）。その後、ゴマダラチョウ・ツマグロヒョウモン♀・イチモンジチョウ・コムスジ・キタキチョウ・キマダラセセリ・モンシロチョウを観察しました。なお、コクサギにはカラスアゲハ等の卵・幼虫は確認できませんでした。

11時半を過ぎ昼食としました。ベンチの下にヘリヒロアオイラガと思われる死体は何匹か有りました。昼食をしながらでは、クロアゲハ・アゲハ・イチモンジチョウが観察できました。写真のイチモンジチョウは、前翅・表の中室内の白斑が明瞭で、アサマイチモンジかとも思いましたが、前翅・表の中央白斑の特徴と後翅裏の中室外側の2黒条が平行だったので、イチモンジチョウと確定しました。

12時40分、バタフライガーデンに行きました。ウマノスズクサは20cm位、苗も2本程度でジャコウアゲハの卵・幼虫は確認できませんでした。周辺では、アゲハ・キタキチョウ・ヤマトシジミ・イチモンジセセリ・アカボシゴマダラ・ウラギンシジミが観察できました。なお、周辺では草刈りが行われたようで、ヤマノイモやオニドコロ等は、少ししか有りませんでした。

三宝時池を出る途中で、ルリシジミを観察しました。その後、石神井池に入り、アカボシゴマダラを観察しました。

今日は、20種の蝶を確認しました。なお、ヤマノイモやオニドコロを食草とするダイミョウセセリの成虫・卵・幼虫が見られなかったのは残念でした。来年以降、ここで発生してくれていると良いのですが。

### (2024年8月10日観察写真)



キタキチョウ



アカボシゴマダラ



アカボシゴマダラ幼虫



イチモンジチョウ



サトキマダラヒカゲ



ツマグロヒョウモン♀



ウラギンシジミ



ツバメシジミ



ムラサキツバメ



ヤマトシジミ



ルリシジミ



フジの葉にいたシジミチョウ科幼虫



イチモンジセセリ



チャバネセセリ



アオバハゴロモとベッコウハゴロモ



ヒロヘリアオイラガ